



『教えてもらうだけで成績が伸びるのでしょうか？』

学校での指導は「教える」ことが中心です。一般的な塾でも同様に「教える」ことがメインとなっています。これは一斉指導でも個別指導においても、基本的には同じことです。しかし、実際には先生がいくら丁寧に教えても、成績を伸ばすことはできません。

例えば、スポーツの指導に目を向けてください。強い野球部の練習を見た時、生徒が先生に教わっている時間と、生徒自身がトレーニングしている時間、どちらが長いでしょうか。生徒はひたすら素振りやスライディング、キャッチボールなどのトレーニングに時間を費やしているはずですが、先生はそのトレーニングの合間に的確な指導をしています。スポーツの指導者は、「トレーニングすることを指導している」と言っても過言ではないでしょう。指導されたトレーニングを地道に継続して初めて、上手にピッチングやバッティングができるようになるのです。

私たちの教室ではeトレを利用することで、トレーニングである『プリント演習』をさせています。敢えて教える時間を削ってでも、生徒が自らの力で問題を解く（すなわちトレーニングをする）時間を設けています。私たちは生徒たちにトレーニングさせることも、重要な指導の一つだと考えています。